

# 令和5年度岩手県立病院等事業会計当初予算（案）の概要

資料 No. 2

## 1 予算の内訳

(単位:千円)

区 分		令和5年度 当初予算額	令和4年度 当初予算額	比 較
収益的 収支	収 益	118,733,775	114,072,618	4,661,157
	費 用	118,940,972	114,444,817	4,496,155
	差引損益	△ 207,197	△ 372,199	165,002
	経常損益	192,106	70,492	121,614
資本的 収支	収 入	14,007,075	14,895,411	△ 888,336
	支 出	21,172,166	21,018,612	153,554
	建設改良費	7,801,109	8,212,985	△ 411,876
	企業債償還金	12,865,857	12,340,027	525,830
	他会計からの長期 借入金償還金	0	0	0
	投資	505,200	465,600	39,600
差 引 (内部留保資金充当)		△ 7,165,091	△ 6,123,201	△ 1,041,890

## 2 収益的収支予算の主なもの

### (1) 医業収益

新型コロナウイルス感染症に感染した患者の受入れと併せて、通常診療を提供する体制を確保すること等により、入院・外来収益の増加を見込んでいます。

ア 入院収益	63,335 百万円	(前年度比 2,485 百万円)
入院患者数	1,145 千人	(前年度比 0.4 千人)
イ 外来収益	29,484 百万円	(前年度比 678 百万円)
外来患者数	1,694 千人	(前年度比 △3 千人)

### (2) 医業費用

職員の増員や給与改定等に伴う給与費の増加を見込んだほか、燃料価格の高騰等による経費の増加を見込んでいます。

ア 給与費	60,687 百万円	(前年度比 1,864 百万円)
イ 経費	17,710 百万円	(前年度比 1,332 百万円)

## 3 資本的収支予算の主なもの

### (1) 建設改良費

昇降機設備等の老朽化及び施設の狭あい化に対応するための工事費や、高度医療の充実を図るための医療器械の購入費等を計上しています。

ア 宮古病院昇降機設備改修工事費	298 百万円
イ 胆沢病院救急外来室等改修工事費	131 百万円
ウ 線形加速器システム等医療器械購入費	3,989 百万円

### (2) 投資

計画的な医師養成を目的とする医療局医師奨学資金貸付金として、505 百万円を計上しています。

令和5年度県立病院等事業会計当初予算及び令和4年度当初予算比較

(単位:千円)

	令和5年度当初予算			令和4年度当初予算			比較増減	
	金額 A	構成比 %	費用 収益	金額 B	構成比 %	費用 収益	5当対4当予 A-B=C	増減率 C/B %
1 医業収益	99,778,658	84.0	—	95,816,308	84.0	—	3,962,350	4.1
(1) 入院収益	63,334,527	53.3	—	60,849,878	53.3	—	2,484,649	4.1
(2) 外来収益	29,484,420	24.8	—	28,806,387	25.3	—	678,033	2.4
小計	92,818,947	78.2	—	89,656,265	78.6	—	3,162,682	3.5
(3) その他医業収益	6,959,711	5.9	—	6,160,043	5.4	—	799,668	13.0
2 医業外収益	18,955,117	16.0	—	18,256,310	16.0	—	698,807	3.8
3 特別利益	0	0.0	—	0	0.0	—	0	#DIV/0!
収益合計	118,733,775	100.0	—	114,072,618	100.0	—	4,661,157	4.1
(うち一般会計負担金)	14,544,368	12.2	(—)	14,537,578	12.7	(—)	6,790	0.0
1 医業費用	116,082,930	97.6	116.3	111,522,134	97.4	116.4	4,560,796	4.1
(1) 給与費	60,686,572	51.0	60.8	58,822,503	51.4	61.4	1,864,069	3.2
(2) 材料費	28,985,153	24.4	29.0	27,790,523	24.3	29.0	1,194,630	4.3
(3) 経費	17,709,771	14.9	17.7	16,377,673	14.3	17.1	1,332,097	8.1
(4) 交際費	1,000	0.0	0.0	1,000	0.0	0.0	0	0.0
(5) 減価償却費	7,872,099	6.6	7.9	7,738,591	6.8	8.1	133,508	1.7
(6) 資産減耗費	243,480	0.2	0.2	169,732	0.1	0.2	73,748	43.4
(7) 研究研修費	584,855	0.5	0.6	622,112	0.5	0.6	△ 37,257	△ 6.0
2 医業外費用	2,358,739	2.0	2.4	2,379,992	2.1	2.5	△ 21,253	△ 0.9
(うち支払利息)	1,006,865	0.8	1.0	1,136,341	1.0	1.2	△ 129,476	△ 11.4
3 特別損失	399,303	0.3	—	442,691	0.4	—	△ 43,388	△ 9.8
4 予備費	100,000	0.1	—	100,000	0.1	—	0	0.0
費用合計	118,940,972	100.0	100.2	114,444,817	100.0	100.3	4,496,155	3.9
差引損益	△ 207,197	—	—	△ 372,199	—	—	165,002	44.3
前年度末繰越欠損金	41,994,923	—	—	41,622,724	—	—	372,199	0.9
当年度末累積欠損金	42,202,119	—	—	41,994,923	—	—	207,197	0.5

【経常損益】

(192,106)

(70,492)

(121,614)

(注) 診療実日数 (単位:日)

区分	入院	外来
5年度	366	243
4年度	365	243

1. 患者数

(単位:人)

区分	入院	外来	計
5年度当初予算a	1,145,012	1,694,381	2,839,393
4年度当初予算b	1,144,602	1,697,213	2,841,815
増減	a-b	410	△ 2,832
	(a-b)/b	0.0	△ 0.2

2. 一日平均患者数

(単位:人)

区分	入院	外来
5年度当初予算a	3,128	6,973
4年度当初予算b	3,136	6,984
増減	a-b	△ 8
	(a-b)/b	△ 0.3

3. 患者一人一日当平均収益

(単位:円)

区分	入院	外来
5年度当初予算a	55,313	17,401
4年度当初予算b	53,162	16,973
増減	a-b	2,151
	(a-b)/b	4.0

4. 病床利用率(許可病床数)

(単位:床、%)

区分	5病床数	5当初予算	4当初予算	差
一般	3,993	70.4	70.5	△ 0.1
療養	88	33.0	32.1	0.9
結核	79	2.9	2.8	0.1
小計	4,160	68.3	68.4	△ 0.1
精神	611	49.4	54.8	△ 5.4
感染	22	0.0	0.0	0.0
合計	4,793	65.6	66.6	△ 1.0

5. 病床利用率(稼働病床数)

(単位:床、%)

区分	5病床数	5当初予算	4当初予算	差
一般	3,767	74.9	75.3	△ 0.4
療養	45	64.4	62.8	1.6
結核	74	3.1	3.0	0.1
小計	3,886	73.4	73.7	△ 0.3
精神	557	54.2	60.1	△ 5.9
感染	22	0.0	0.0	0.0
合計	4,465	70.9	72.0	△ 1.1

当初予算(コロナ分)について

コロナに係る予算積算の考え方

[R5当初]

コロナ対応と通常診療を両立(withコロナ)する。年間を通してフェーズ1(感染小床期)、通常診療には影響を及ぼさないと仮定。

[R4当初]

第1四半期はコロナの影響が継続し、第2四半期以降は通常診療へ移行すると仮定。

1 主な収益

(千円)

	R5当初	R4当初
収益計(①+②)	2,920,067	1,401,430
ワクチン接種収入①	390,219	177,892
補助金②	2,529,848	1,223,538
(再掲)空床確保料	2,255,292	1,160,640
R5:通年・フェーズ1		
R4:第1四半期分・フェーズ1		

2 主な費用

(千円)

	R5当初	R4当初
費用計	1,113,084	447,088
給料(コロナ増員体制36名の継続)	269,064	269,712
超過勤務手当	139,335	41,659
防疫等作業手当	579,136	63,375
診療応援手当(ワクチン接種)	125,549	72,342

資本収支

(単位:百万円、%)

内 容	5 年 度 当初予算 (A)	4 年 度 当初予算 (B)	比較増減		5 年度の主な事業内容
			5 当対 4 当 (C=A-B)	増減率 (B/C)	
1 資本的支出					
(1) 土地費	50	50	0	0.0	
(2) 建物費	1,451	1,580	△129	△8.2	宮古病院昇降機設備改修工事 298 胆沢病院救急外来室等改修工事 131 中央病院無菌治療室拡張工事 他 1,022
(3) 医療器械費	3,989	4,554	△565	△12.4	中央PET-CT、大船渡リニアック更新 他 1,524
(4) 備品費	1,064	1,042	22	2.1	電子カルテ、医事会計システム 他 911
(5) ソフトウェア費	1,247	987	260	26.3	電子カルテシステム 882 勤務管理システム、医事会計システム 他 365
建設改良費 計	7,801	8,213	△412	△5.0	
(6) 企業債償還金	12,866	12,340	526	4.3	
(7) 他会計借入金償還金	0	0	0	#DIV/0!	
(8) 投資	505	466	39	8.4	新規貸付25名、継続貸付127名
支 出 合 計 (a)	21,172	21,019	153	0.7	
2 資本的収入					
(1) 企業債	7,312	7,464	△152	△2.0	建物分：1,293、医療器械分：3,863、システム整備分：2,156
(2) 一般会計繰入金	6,329	6,818	△489	△7.2	企業債償還元金分
(3) 補助金	366	614	△248	△40.4	施設整備事業補助金（へき地、災害拠点）： 73 医師奨学資金貸付事業費補助金： 293
(4) その他	0	0	0	0.0	
収 入 合 計 (b)	14,007	14,896	△889	△6.0	
差 引 (a-b)	7,165	6,123	1,042	17.0	内部留保資金を充当

## 令和5年度 当初予算（案）について

### 1 予算案の考え方

- 新型コロナウイルス感染症<sup>\*1</sup>への対応の継続と併せて、通常診療を提供する体制を確保し、令和5年度当初予算における経常損益は、経営計画[2019-2024]<sup>\*2</sup>に定める規模となる1億92百万円余の黒字を計上するもの。
- 引き続き、収入確保及び費用縮減等の改善に取り組むとともに、良質な医療を提供し続けるため、職員の負担軽減や働きやすい職場環境の取り組みなどを推進していく。
- 設備投資については、費用対効果や勤務環境の改善、キャッシュフローの見通し等を踏まえた投資規模とする。

※1: 予算上では、新型コロナウイルス感染症の感染状況を年間を通してフェーズ1(感染小  
康期)と仮定し、通常診療には大きな影響は及ぼさない想定で予算を計上しているもの。

※2: 経営計画[2019-2024]では経常損益2億3百万円の黒字

### 2 各課トピック

#### 【経営管理課】

- ・劣化調査の結果を踏まえた長寿命化改修工事（宮古病院）
- ・救急外来室等改修工事（胆沢病院）
- ・無菌治療室拡張工事（中央病院）
- ・女性医師勤務環境改善工事（千厩病院）

#### 【職員課】

- ・新型コロナウイルス感染症へ対応するための体制強化の継続（看護師36人）

- ・職員配置計画を踏まえた医師等の体制強化（7名の増員）
- ・多様な方策による職員の安定的な確保（就活支援サイト活用等）
- ・ハラスメント防止対策の推進（専門家による研修の実施、相談窓口等）
- ・働き方改革の推進や超過勤務縮減推進月間の実施により、超過勤務の10%縮減

#### 【医事企画課】

- ・診療報酬の算定維持及び新規項目等の算定開始のための人員配置等の把握・分析
- ・患者のQOLに配慮した各種指導と在院日数の適正化
- ・医療現場のデジタル化の推進に向けた整備（オンライン診療機能、患者待ち状況通知システム、サイバーセキュリティ対策、リモートワーク端末整備）
- ・電子カルテ更新（5病院）、医事会計システム更新（15病院5センター）

#### 【業務支援課】

- ・クリニカルパスの推進（リハビリ早期処方、赤字パス見直し）
- ・医療技術部門の増員による体制の整備（3名の増員）
- ・PET-CT やリニアック等の高度医療機器等の計画的な整備
- ・医師との協働による診療材料の廉価購入の取組

#### 【医師支援推進室】

- ・外部専門家との協働による医師の働き方改革推進
- ・医師労働時間上限規制に向けた対応（勤務環境評価の受審）
- ・産婦人科特別枠奨学生に対するキャリア形成支援（産婦人科医療の見学体験等）
- ・奨学生の義務履行に対する意識醸成（県内臨床研修病院等への訪問交流）